

事項	ノーザンハイブッシュ系ブルーベリーの特性（追加）																	
ねらい	ブルーベリーは、健康機能性が高く、低樹高で栽培管理のしやすい果樹として、近年、新規作付による栽培面積の増加が著しい。また既存産地においては、新品種への関心が高く、本県に適応性の高い品種が要望されている。最近育成されたブルーベリー（ノーザンハイブッシュ系）について、9品種の特性を明らかとしたが（平成21年度指導参考資料）、今回現地で要望の高い2品種について試作したところ、特性が明らかとしたので、品種選択の際の参考に供する。																	
指導参考内容	<p>1 ブルーベリー各品種の特性の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種名</th> <th>収穫期間 (熟期)</th> <th>果実の 大きさ</th> <th>収穫 量</th> <th>特性及び栽培上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シエラ (Sierra)</td> <td>7月中旬 ～ 8月上旬 (早生)</td> <td>大</td> <td>中</td> <td>果粉が密に着き、外観が美しい 果肉が硬くしっかりしている 甘味が多く食味良好 凍害の発生は少ない</td> </tr> <tr> <td>チャンドラー (Chandler)</td> <td>8月上旬 ～ 9月上旬 (晩生)</td> <td>極大</td> <td>少</td> <td>果実が極大である。 酸味がやや多いが、風味が豊かで食味 良い 熟期がばらつき、収穫期間が長い 生理的落果がみられる 凍害の発生は少ない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 熟 期：「コリンズ」を早生、「ブルークロップ」を中生、「コビル」を晩生とした場合の比較 果実の大きさ：極大（4g以上）、大（3～4g）、中（2～3g） 収穫量：多（3kg/樹以上）、中（1～3kg/樹）、少（1kg/樹以下）</p>			品種名	収穫期間 (熟期)	果実の 大きさ	収穫 量	特性及び栽培上の留意点	シエラ (Sierra)	7月中旬 ～ 8月上旬 (早生)	大	中	果粉が密に着き、外観が美しい 果肉が硬くしっかりしている 甘味が多く食味良好 凍害の発生は少ない	チャンドラー (Chandler)	8月上旬 ～ 9月上旬 (晩生)	極大	少	果実が極大である。 酸味がやや多いが、風味が豊かで食味 良い 熟期がばらつき、収穫期間が長い 生理的落果がみられる 凍害の発生は少ない
品種名	収穫期間 (熟期)	果実の 大きさ	収穫 量	特性及び栽培上の留意点														
シエラ (Sierra)	7月中旬 ～ 8月上旬 (早生)	大	中	果粉が密に着き、外観が美しい 果肉が硬くしっかりしている 甘味が多く食味良好 凍害の発生は少ない														
チャンドラー (Chandler)	8月上旬 ～ 9月上旬 (晩生)	極大	少	果実が極大である。 酸味がやや多いが、風味が豊かで食味 良い 熟期がばらつき、収穫期間が長い 生理的落果がみられる 凍害の発生は少ない														
期待される効果	ブルーベリーの新規作付や品種更新に際し、品種選択の参考となる。																	
利用上の注意事項	供試品種の特性は若木（6～10年生）での内容である。																	
問い合わせ先 (電話番号)	りんご研究所県南果樹部（0178-62-4111）	対象地域	県下全域															
発表文献等	平成22～24年度 りんご研究所試験成績概要集（特産果樹）																	

【根拠となった主要な試験結果】

表1 ブルーベリー各品種の開花期、収穫期、樹の生育及び収穫量

(平成22年～24年 青森りんご研県南果樹)

品種名	開花期 (月/日)	収穫期 (月/日)	樹勢	樹姿	樹高 (cm)	樹幅 (cm)	新梢本数 (本/樹)	収穫量 (kg/樹)
シエラ	5/25～6/10	7/23～8/8	中	やや開帳	120	96	47	1.28
チャンドラー	5/27～6/11	8/6～9/7	強	開帳	113	92	33	0.59
参考) コリンズ	5/18～6/3	7/19～7/31	強	直立				
参考) ブルークロープ	5/23～6/8	7/26～8/22	中	直立				
参考) コビル	5/24～6/8	8/4～9/4	強	直立				

- (注) 1 耕種概要：樹齡（平成24年）：「シエラ」10年生、「チャンドラー」は7年生
 2 栽植距離 2 m×4 m、株仕立て、1 品種3 樹、
 3 各調査項目は平成22年～24年の平均、但し、樹高、樹勢、新梢本数及び収穫量は平成24年
 4 開花期：開花日（20%開花）～落花日（80%落花）
 5 新梢本数：10cm以上の新梢をカウント
 6 参考品種：平成24年時30年生、1 品種2 樹

表2 ブルーベリー各品種の果実品質及び凍害発生程度

(平成22年～24年 青森りんご研県南果樹)

品種名	果実重 (g)	横径 (cm)	果皮色	果形	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	食味 (1～5)	凍害発生程度 (平成24年)
シエラ	3.0	1.9	明青	扁円	11.6	0.69	3.7	小
チャンドラー	4.8	2.2	青	扁円	10.9	0.72	3.5	小
参考) コリンズ	3.2	1.9	明青	扁円	12.4	0.59	3.7	
参考) ブルークロープ	3.5	1.9	明青	扁円	10.8	0.60	3.3	
参考) コビル	3.4	1.9	明青	扁円	11.3	0.72	3.7	

- (注) 1 果実品質：平成22年～24年の平均
 但し「チャンドラー」の平成22年は調査果数不十分のため除外
 調査は各年の収穫始めまたは2回目の収穫時
 2 果実重及び横径：10～30果の平均
 3 糖度及び酸度：30～100果より搾汁し測定、なお、酸度はクエン酸換算
 4 食味：1（不良）～5（良好）
 5 凍害発生程度：
 小（1年枝の先端がわずかに黒変し、樹全体の収量には影響しないとみられる程度）



写真1 「シエラ」果実



写真2 「チャンドラー」果実